

会津大学公式ウェブサイトリニューアル及び運用業務委託仕様書（案）

1 業務名

会津大学公式ウェブサイトリニューアル及び運用業務委託

2 業務の目的

本学のウェブサイトは前回リニューアルから5年が経過し、前回のコンセプトである「入学志願者の増」は2020年時点で目標値の入試志願倍率5倍を上回るなどその目的を達成しており一定の成果が得られている。

一方で、「THE世界大学ランキング日本版2021」においては、24位にランクインしているものの「教育成果」（企業人事や研究者からの評判結果）の評価が他項目に比べ低くなっている。その要因の一端として、企業や研究者を対象とした本学の教育成果の情報発信が不十分である可能性がある。

これらの背景を踏まえた上で、本学の強みである研究重視の姿勢や国際化の推進、「日本初のコンピュータ理工学専門の大学として最先端を走り、尖り続ける」大学としての発信力の強化を目的に、現行サイトのコンテンツの基本構成は維持しつつ、デザインの一新を行うために、本業務を実施する。

また、公式ウェブサイトの安定的な運用のため、4年6ヶ月のウェブサイト運用業務についても併せて委託を行うこととする。

3 ウェブサイト改修の基本方針

会津大学の強みを発信できるウェブサイトを作成する。なお、現在のウェブサイトの課題を以下のように分析しており、これらの課題を解決するための手法やアプローチを検討したうえで、必要だと考える提案を行うこと。

【現状・課題】

- ・本学の特徴をより伝わりやすくするための掲載方法の検討が必要。

例) 日本初のコンピュータ理工学専門の大学として、“To advance knowledge for humanity”（人類の平和と繁栄のために発明・発見を行うこと）を建学の理念とし、この理念の実現のために、優れたコンピュータ環境を整え、教員1人に対する学生の数を9.5人と少数にし、約4割が外国人教員といった環境を整えており、その教育の結果、就職内定率がほぼ100%であること。

- ・本学が発信すべき最新の情報をタイムリーに掲載できるよう、トップページの最も注目される個所の表示項目を容易に編集できるようにする必要がある。

例) メインビジュアルのスライドの編集等

- ・閲覧者が必要とする情報に容易にたどり着けるようサイト構成、インターフェースの見直しが必要。

例) カテゴリー区分及び対象者別メニューの整理、選択時のドロップダウンメニューやハンバーガーマニューの導入等

4 本業務の概要

(1) 内容

(ア)公式ウェブサイトリニューアル業務

(イ)公式ウェブサイト運用業務

(2) 契約期間

(ア)公式ウェブサイトリニューアル業務

契約締結の日から 2022 年 3 月 31 日 (木)

※2022 年 3 月 31 日 (木) までに公式ウェブサイトを公開できる状態にすること。

(イ)公式ウェブサイト運用業務

2022 年 4 月 1 日 (金) から 2026 年 9 月 30 日 (水)

(3) 納品物及び納品場所

(ア)システム構築作業完了時に提出するもの

- ①ウェブサーバ構築結果報告書
- ②ウェブサーバ環境報告書
- ③ウェブサイト管理システム構築結果報告書
- ④ウェブサイト管理システム環境報告書
- ⑤ウェブサイト管理システム運用マニュアル

(イ)公式ウェブサイトリニューアル完了時に提出するもの

- ①新ウェブサイトの再構築後のコンテンツ一式
- ②業務計画書
- ③新ウェブサイト基本設計書
- ④コンテンツ分類表
- ⑤コンテンツ移行報告書
- ⑥コンテンツ構造設計書
- ⑦サイト構造設計書
- ⑧サイト共通部品定義書
- ⑨コンテンツリスト設計書
- ⑩テンプレートレイアウト
- ⑪アクセシビリティ対応報告書
- ⑫記事作成者向けマニュアル (Word 形式)

※①は指定するサーバに、②以降は会津大学企画連携課に納品するものとする。

(ウ)ウェブサイト運用開始後、毎月提出するもの

公式ウェブサイト運用に係る運用支援及び作業報告書

5 業務内容

(1) 公式ウェブサイトリニューアル業務

①現ウェブサイトの分析

現ウェブサイトの問題点、不足点など分析し、それらの改善策を提案すること。

②ウェブサイトの制作

作成したデザインに基づき、コンテンツ作成・編集等を行うためのテンプレート設計、開発を行うこと。業務用途に応じた複数のテンプレートを作成すること。

また、同一の内容で日本語版ページ及び英語ページを制作するものとし、それぞれ表裏の関係となるようウェブサイトを設定すること。ただし、制作に必要な英語テキストは本学が翻訳して提供する。

③現行 CMS ソフトウェア Movable Type 及びコンテンツの移行

リニューアル稼働前におけるコンテンツの移行および作成作業は、基本的に全てを受託業者が行なうものとする。更新担当者の作業負担が最小限となるように配慮すること。指定日時点の現サーバのデータをすべて新サーバへ移行すること。

④テストサイトの開設

サイト公開 2 週間前までにテストサイトをオープンし、本学の検証を受けること。なお、テストサイトのコンテンツは最新の状態でなくてもよい。

⑤操作マニュアルの作成

操作マニュアルはウェブサイトの専門的な知識を持たない者が更新担当者となることを想定して、操作画面の画像を掲載するなどわかりやすい解説に努め、以下の 2 種類を用意すること。

a 管理者用（ウェブサイト管理の全権限を持った者）の運用マニュアル

b 更新担当者用（ページの新規作成及び更新する権限を持った者）の運用マニュアル

⑥管理者、更新担当者の研修

上記のマニュアルを使い、管理者、更新担当者それぞれに管理方法、更新方法をレクチャーする研修会を公開前に管理者を 1 回、更新担当者研修を 2 回開催すること。日程については監督員と相談すること。研修に必要な会場と機材は本学が用意する。

⑦本業務の遂行体制と制作スケジュールの管理

本業務を遂行するにあたり、全体を統括する業務責任者を任命して、本学との連絡、報告、制作スケジュールの管理をすること。

なお、2022 年 3 月上旬に予定されている 2022 年度一般選抜 A・B の本試験合格発表に支障のないようスケジュール管理に留意すること。

⑧サイトマップの作成

制作したウェブサイトに基づき、サイトマップを作成すること。

⑨運用業務開始期間までのウェブサイト管理

ウェブサイト公開から 2022 年 3 月 31 日までの期間について、運用管理を行うこと。

(2) 公式ウェブサイト運用業務

2022 年 4 月 1 日以降に行われる、CMS を活用して管理されたコンテンツ及び動作環境をウェブ情報として経常的に公開するために必要となる機器及びシステムの導入、保守、運用管

理、撤去作業の全て。

6 公式ウェブサイトリニューアル業務に係る各種要件

以下（ア）～（カ）の要件を満たすこと。

（ア）システム環境

利用者が使用するウェブブラウザと環境は以下を想定する。これらブラウザにて、レイアウトが大きく崩れるようなことがないように努めること。

- ①ウェブサイト公開時における次のブラウザの最新版：Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safari（いずれも PC 環境の場合）
- ②ウェブサイト公開時における次の環境、ブラウザの最新版：iOS デバイス（iPhone、iPad）の Safari、Android スマートフォンの Chrome
- ③ウェブサイトの横幅が、利用者の環境の特定の解像度に依存しないように、レスポンシブデザインとする。
- ④スマートフォン等でも見やすいように、小さな画面にも対応するデザインとする。

（イ）セキュリティ要件

ウェブサイト公開時において、以下のセキュリティ対策を講じること。

- ①ファイアウォール機能によるアクセス制限を行う。
- ②ユーザーアカウントのパスワードは、8 文字以上の複雑な文字列を有する。
- ③管理者ユーザー名に admin、webmaster 等の使用を避けること。
- ④ウェブサイトの公開は、常時 SSL/TLS を基本方針とする。
- ⑤telnet 及び不要なポートは閉鎖する。
- ⑥SSH は秘密鍵認証のみアクセスを許可し、root によるリモートアクセスは禁止する。
- ⑦限られたユーザーのみに root 昇格権限を与える。
- ⑧直近 1 年間のログを保管し、常時確認可能な設定にする。
- ⑨公開後の各セキュリティアップデート及びメンテナンスが可能な状態で構築する。

（ウ）機能要件

①ヘッダー及びグローバルナビゲーション

- a 対象者別メニューを設置する。（ユーザーの種類は提案すること）
- b カテゴリー別メニューを設置する。（カテゴリーの種類は提案すること）
- c メニューは下ディレクトリのメニューが分かるように多段階表示とする。

②トップページ及びトップバナー

- a 注目してほしい項目をトップページ上部に画像と共に複数表示できるようにする。
- b 会津大学の特徴がわかるトップページとする。（内容は提案すること）
- c 利用者が求める情報を探しやすくする。（方法は提案すること）
- d トップページのわかりやすい場所に SNS のリンクを設置する。
- e 現サイトでトップページに表示されているトピックス、ニュース、及び第 2 階層の「お知らせ」のページを見直し、新着の情報をより伝わりやすいものとする。（方法及びカテゴリー区分は提案すること）

例) 記事一覧表示のカテゴリー別切り替え又は絞り込み表示、記事掲載期間の設定、カテゴリーや日付などの付加的な情報の表示、新着情報であることを示す表示の設定等

③研究紹介データベース及び問い合わせフォーム

研究紹介データベース及び問い合わせフォーム等（以降「独自システム」という）をサーバに導入すること。

- a 研究紹介データベースの情報更新については、データ連携している「会津大学年報業績登録システム」から一定時間毎に出力される CSV ファイルを新サーバへアップロードし、CMS へエクスポートするスクリプト（以降「連携データ変換スクリプト」という）等を実装することで実現すること。
- b CSV ファイルは差分（必要に応じて全件）とするが、受注者と大学側及び「会津大学年報業績登録システム」の保守業者が協議の上、連携データ構造や具体的な連携方法を決定する。
- c 既存のサーバで動作している連携データ変換スクリプトを利用する場合、新サーバで動作するよう修正及び再配置を行うこと。
- d 独自システムのメンテナンス（OS、ミドルウェア、CMS 及びプラグイン等更新時の独自システムの動作確認）は必要に応じて大学側の指示に従って行うこと。

④ウェブサイト全般

- a 利用者がウェブサイトをすぐに離脱せず、長く留まり多くのページを閲覧するように工夫をする。
- b 記事の投稿・更新は日本語ページと英語ページを合わせて行えるようにする。
- c 印象的な写真や動画コンテンツを活用して、本学のイメージアップを図る。
- d サイト内の検索を実装する。
- e エラーページのカスタマイズを行い、利用者に関覧状況を的確に伝達して、代替ページ等を用意する。
- f ページ内容全てのテキスト・画像等の配置といった体裁をスタイルシートの指定により制御し、A4 縦サイズで内容が損なわれることなく印刷できること。
- g ブラウザの機能に頼らず文字の大きさを可変（大・中・小）できる機能をつけること。

⑤各種コンテンツ

- a 研究一覧（参考 <https://www.u-aizu.ac.jp/research/researchlist/list>）及び教員一覧（参考 <https://www.u-aizu.ac.jp/research/faculty/members>）について、教員や研究内容の検索機能や操作性に優れたページを作成すること。
- b 利用者の回遊性向上のため、関連しているページのリコメンド機能（おすすめのページを表示させる機能）を有すること。
- c その他各種コンテンツにおいては、ウェブサイト構築作業期間において担当課と協議の上、必要に応じて修正を行う。

⑥管理者向け機能

- a アクセス解析できる機能を実装する。（Google Analytics3 及び 4、Search Console）
- b Description メタタグの使用やサイトの階層整理等による Google 検索エンジン最適化を図る。

- c 下記対応ブラウザを用いて管理画面より管理及び更新を可能とする。(Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safari)
- d トップページ上部の画像(トップバナー)や各ページを構成するボタン、バナーなどの画像要素は管理者により容易に差し替えが可能となるよう配慮する。
- e メニュー構成の編集、投稿ページのカテゴリの追加、バナーの変更、ページの作成と編集、公開等について、編集者の所属によって編集できる範囲に制限ができるよう権限の設定を可能にすること。
- f 問い合わせメールフォームは SSL を実装し、複数設置することが可能なこと。コンテンツ制作者が容易に、アンケートや各種申し込み、御意見集計等に应用可能な入力フォームの作成が可能であること。
- g 入力フォームはチェックボックスやセレクトボックス、ラジオボタンなどを用いて、自由な項目が追加でき、入力フォームの回答者に控えメールが送信され、入力フォームの作成者には回答が送信されること。
- h 入力フォームによる回答結果は、コンテンツ制作者の編集画面上でも確認でき、また CSV形式でデータ一覧としても書き出しができること。
- i YouTube や Google Map 等の外部コンテンツの埋め込みが専門的知識を有さずに行えること。

(エ) デザイン要件

- ①見た目の印象を左右するグラフィックデザインと、操作性の良し悪しを決める UI デザインのどちらも思案されたものであること。見た目は良いが操作性が悪いといったウェブサイトにならないようにすること。
- ②解像度の高いモニターで見ても写真や図がきれいに見えること。
- ③日本語、英語ともに文字の可読性に注意すること。
- ④スマートフォンやタブレットなどのデバイスに対応したレスポンシブなレイアウト表示にすること。
- ⑤パソコン及びスマートフォンやタブレットでも操作がしやすい UI デザインにすること。
- ⑥公開後4年6ヶ月は陳腐なデザインにならないように、先進的でありつつ、流行を追い過ぎてすぐに飽きられるデザインを避けること。
- ⑦リンク先が内部リンクか外部リンクか PDF ファイルであるかなどを明確にすること。特に学内限定のウェブサイトリンクを貼る場合、リンク先に行く前に学内限定であることがわかる表示にすること。
- ⑧トップページ及びテンプレートは、打ち合わせの上、デザイン案を作成し、要望に応じて最終デザインが決定するまで変更が可能な部分においてはデザイン変更に対応できること。
- ⑨ホームページ構築に当たっての写真等の素材に関しては大学から提供するものを使用することとし、素材の加工や掲載イラストの作成に関しては、業務内容に含むものとする。

(オ) アクセシビリティの配慮

- ①色味のコントラスト、使用フォント、文字サイズ、画像キャプション、UI デザインに配

慮すること。

- ②JIS X8341-3（高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ）に配慮されていること。
- ③本サイトを利用することにより、目的とする情報にストレスなく適切に到達でき、問題を解決するための情報にストレスなく適切に到達できるようにする。原則、2～3クリック以内で必要な情報に到達できるものとする。表示速度については、キャッシュあり2秒以内、キャッシュなし4秒以内程度を想定する。

(カ) CMS の要件

- ①既に契約している MovableType7 及び CheckRelease for Movable Type を使用し、見積には契約期間の年間メンテナンス料も含むこと。別途提案内容に有料プラグインを含む場合はその年間メンテナンス料も計上すること。
- ②ウェブサイト公開時において、CMS 及び使用プラグインをその時点での最新バージョンとする。
- ③「(エ) デザイン要件」、「(オ) アクセシビリティの配慮」を満たすコンテンツの維持・更新ができるよう設定されていること。
- ④Open Graph Protocol を設定し、SNS でウェブサイトの記事をシェアした際に、タイトルや画像、説明文などを表示するようにすること。

7 ウェブサイトの対象者と求める閲覧項目

以下をウェブサイト構築の参考とすること。

高校生・受験生	オープンキャンパス／資料請求／受験／入学／奨学金／学費／就職率や資格修得／カリキュラム／特色ある研究活動／学生生活／課外活動（サークル、自主活動）
在学生	大学施設やシステムの利用／学業・研究・生活に必要な情報をスムーズに入手／充実した日常活動（部活、サークル、アルバイト、ボランティアなど）／就職・進学／留学／奨学金／シラバス／単位取得モデル／研究室配属へ向けた研究室紹介／社会貢献活動への参画／サポート体制／各種問合せ相談窓口
留学生	日本での生活／学業・研究・生活に必要な情報／大学施設やシステムの利用／充実した日常活動（部活、サークル、アルバイト、ボランティアなど）／就職・進学／奨学金／社会貢献活動への参画／相談窓口
保護者	子どもの受験対象としての関心／大学の環境／奨学金／就職率や資格修得／カリキュラム／寄附／サポート体制／各種問合せ相談窓口
研究者	大学の研究者及び研究内容・研究活動・研究成果／研究者の公募／共同研究／協定／イベント招聘／担当窓口・連絡先
卒業生	大学・先輩・後輩とのつながり／学び直し（社会人入学含む）／社会貢献／寄附／大学院・研修で新しい知見を学ぶ／ホームカミングデーなどイベントへの参加／同窓会情報／卒業生の就職支援
県民・市民	イベント参加／学び直し（社会人入学含む）／施設の利用／共同企画の

	実施／寄附／商業活動・購買／勤労（大学で働く）／アルバイト／ボランティア／生涯学習
企業	施設・機器の活用／商業活動・購買／業務委託・発注／産学連携／シーズの活用／研究等の依頼／共同研究／寄附／寄附講座／学生の就職／イベント参加／研修・講座等への人材の派遣／学び直し（社会人入学含む）

8 公式ウェブサイト運用業務に係る各種要件

(1) 前提条件

- (ア)公式ウェブサイトとして必要となる、障害時の可用性の確保及びサーバ管理運用に係る費用の効率化、大学側で発信するウェブ情報との協調性などを実現するために、CMS サーバ及びウェブサーバをセキュリティが確保されるホスティングサービスを利用すること。
- (イ)経常的なウェブサービスの提供を目的とするため、サーバ類の機器に係る構成等の制約を緩和し、公式ウェブサイトとしての運用として支障の無い環境を構築できるホスティングプラン及び機器構成を対象とする。
- (ウ)ホスティングサービスのサービス提供においてウェブサービスを行うサーバが設置されるデータセンターは以下の条件を満たしていること。
 - ① 情報セキュリティ管理の国際規格 ISO/IEC 27001 の認証取得
 - ② 非常用発電装置及びバックアップ電源による瞬停/停電対策
 - ③ 高圧受電の複数経路引き込み
 - ④ 耐震対策、水害対策、消火設備、耐震ラックなどの災害対策
 - ⑤ 個人認証、各種センサーによる入退室規制
 - ⑥ バックボーン回線の冗長化及びそれら複数回線のトラフィック制御
- (エ)ホスティングサービス業者と当該ウェブサーバ運用管理業者は同一である必要はないが、受託業者が本賃借契約に係る全ての責務を負うこととする。
- (オ)業務計画書を策定し、業務計画に沿って作業を行うこと。
- (カ)システムの導入に際しては本学側の指示に従い、本学側より作業内容や作業日程の変更要請があった場合は調整を行うこと。

(2) 対象範囲

- (ア)FQDN u-aizu.ac.jp に係る制御
- (イ)ホスティングサービスとして必要となるハードウェア、ソフトウェアの手配及び構築（必要となる付帯物を含む）及び公式ウェブサイトのコンテンツデータ
- (ウ)CMS を利用したウェブサイト管理システム稼働環境構築
- (エ)ホスティングサーバに対する「構築済み CMS 環境」の導入
- (オ)賃貸借期間中の当該 Web サーバに係る SSL 証明書のインストール等の作業
SSL 証明書は大学が提供する UPKI の SSL 証明書若しくは受託者側で用意した SSL 証明書を利用すること。受託者側で SSL 証明書を用意する場合は受託者側の費用負担とする。

(カ)公式ウェブサイトの運用上必要となるセキュリティ対策及びインシデント対応

(3) ウェブサーバ環境に関する要件

(ア) サーバは本仕様のウェブサービスの稼働及び以下の性能指標に必要な性能を有し、賃貸期間の利用において十分な可用性・耐障害性をもつ構成とする。

性能指標：PDF ファイル(約 30kbyte)に対して 10 分間で 1,500 ページビュー、1 秒当たり 20 リクエストのアクセスにストレス無く耐えうること。

想定されるリソース (CPU、メモリ、HDD) について根拠と併せて提示すること。

(イ) サーバは仮想環境による構成を可とし、仮想化や冗長化などにより、単一障害点がない構成とすることで、サービスが停止しない構成とする。

(ウ) サーバ構成は、CMS サーバとウェブサーバを別のホストとして稼働させることとする。
(冗長構成下での仮想環境の場合は、同一筐体への収容も可とする。)

(エ) イメージによるバックアップとし、ファイル単位での復元機能を有すること。

(オ) CMS の動作に必要なとなるソフトウェア等のサーバ環境を準備すること。

※参考 現行のウェブサイトを導入しているプラグインは以下のとおり。

MTAppjQuery

CheckRelease

U-AIZU Custom Fields Display for Entry List (※独自開発)

PageBute

UploadDir

Rebuild Trigger

(カ) SSL や TLS の対応及び改ざん防止対策ができること。

(キ) セキュリティ対策のための WAF を導入すること。

(ク) サーバ構成は次の表のとおりとする

【サーバ構成】

ウェブサーバ	CMS サーバ
OS : RedHat Enterprize Linux 8 以上	OS : RedHat Enterprize Linux 8 以上
CPU : 2 コア以上	CPU : 2 コア以上
メモリ : 3GB 以上	メモリ : 4GB 以上
ハードディスク : 100GB 以上	ハードディスク : 100GB 以上
CMS : なし	CMS : Movable Type 7 以上
WEB : Apache 2.4 系以上または nginx	WEB : Apache 2.4 系以上または nginx
PHP : PHP 7.4 系以上	PHP : 7.4 系以上
	DB : MySQL 8.0 系以上
Backup : イメージバックアップ	Backup : イメージバックアップ
Web 改ざん検知 : 300 ページ/日/回	Web 改ざん検知 : 300 ページ/日/回
脆弱性/AV 対応 : セキュリティ対策ソフトウェアまたはサービス	脆弱性/AV 対応 : セキュリティ対策ソフトウェアまたはサービス

回線：100Mbps 共有 契約流量 3Mbps	回線：100Mbps 共有 契約流量 1Mbps
-----------------------------	-----------------------------

9 ウェブサーバに係る運用支援

- (1) 会津大学公式ウェブサイトに係るウェブサービス
http://www.u-aizu.ac.jp/ → ホスティング先のウェブサーバ（独自システムを含む）
- (2) 以下の Web サーバを FQDN u-aizu.ac.jp として透過的に利用できるよう、①でのリダイレクト等の対応を行うこと。なお、②③及び Web プロキシサーバが 2021 年 10 月 1 日より「会津大学教育用計算機システム 2」にて提供されるサーバとなるので、対応は大学側と協議の上行うこと。
 - ①会津大学公式 Web サーバ
 - ②学外向け Web サーバ
 - ③学内向け Web サーバ
- (3) FQDN www.u-aizu.ac.jp の DNS 「正引き」に係る制御
参照先 IP アドレスは大学側 DNS コンテンツサーバの A レコード応答にて対応。
なお、大学側 DNS コンテンツサーバの環境設定は大学側で実施する。
- (4) FQDN www.u-aizu.ac.jp の DNS 「逆引き」に係る制御
ホスティング用ウェブサーバの IP アドレスの適切な DNS 「逆引き」が行われること。
xxx.xxx.xxx.xxx → www.u-aizu.ac.jp

10 サービス内容

- (1) サービス障害／ハード障害の際は即時に障害対応を実施すること。
- (2) 緊急時の連絡
インシデントレスポンスとして緊急連絡先への連絡を行うこと。
緊急連絡先：企画連携課 担当、情報センター 担当
- (3) ソフトウェアの保守
当該ウェブサーバの、OS、ミドルウェア、アプリケーション（CMS を含む）などについて、以下の場合に、ソフトウェアのマイナーアップグレードや他ソフトウェアへの移行等の改修や環境移行の対応を行うこと。
 - (ア) ソフトウェアの開発中止などの要因によるサポート継続が困難な場合
 - (イ) ソフトウェアのセキュリティパッチが公開された場合
 - (ウ) セキュリティホールなどに起因するセキュリティ上の脅威となる場合
 - (エ) メジャーアップグレードや、その他運用上必要となる変更がある場合については、大学側と協議する。
- (4) 保守用アカウントの利用支援
大学側担当が保守用アカウントを利用する際の支援を行うこと。
アクセスログ等の情報格納場所の開示、各種設定の照会、他、作業全般の支援
- (5) インシデント対応
インシデントに関する対応及び報告を行うこと。
以下に JPCERT/CC で分類される主なタイプをあげる。

- (ア) プローブ、スキャン、不正アクセス
 - (イ) サーバプログラムの不正中継
 - (ウ) 詐称電子メールの配送
 - (エ) システムへの侵入
 - (オ) サービス運用妨害となる攻撃
 - (カ) その他（ウイルス感染など）
- (6) セキュリティ対策
- セキュリティ対策として以下の対応が可能であること。
- (ア) 侵入防止及び不正行為の検知と対策の実施
 - (イ) OSに係るセキュリティ監査とその対策の実施
 - (ウ) OS及びインストールソフトのバージョンアップを含むセキュリティ監査とその対策実施
 - (エ) アクセス記録の分析及びセキュリティ監査と対策の実施
 - (オ) ロギング環境の適正化、運用体制の適正化
 - (カ) 365日、24時間の監視
 - (キ) 不正行為の早期検知
 - (ク) 不正アクセスに対するアクセス制御及び対策の実施
 - (ケ) 通信ポートの健全化
 - (コ) パスワードクラック防御、不正ホストからのアクセス制御
 - (サ) 電子メール、CGIなどの経常稼働アプリケーションの監視（異常、暴走、不正動作など）
 - (シ) システム基幹及び関連ソフトウェアの改竄監視
 - (ス) ハードウェア障害時のデータ復旧
 - (セ) システムリソースの監視及び健全化
 - (ソ) サポート及び問い合わせなどに対するソーシャルクラック対応
 - (タ) SQLインジェクション、クロスサイトスクリプティング対策
 - (チ) PHP脆弱性に対する対策

11 ウェブサイト管理体制と更新体制

円滑な制作と移行をするために契約締結後は速やかに監督員と打合せを行い、以後月に1回以上定例会を開催すること。実施場所は本学もしくはオンラインとし、進捗状況等を報告すること。定例会および本学と協議する必要がある場合の打ち合わせには、業務責任者とは別に協議する内容が技術的・スケジュール的に可能であるか判断できる技術責任者を出席させるものとし、当該者については参加表明書提出の際に業務実施体制（様式第4-1号）に氏名を記載すること。また、技術責任者に変更のある場合は事前に申し立てること。

12 その他

- (1) 本契約によって生じた成果物についての著作権は、本学に帰属するものとする。
- (2) 機密保護データ漏洩、紛失、盗難の防止措置を十分に講じ、業務上知り得た情報は、本契約終了後も秘密遵守すること。

- (3) 本仕様書に定めのない事項については、必要の都度、本学と受注者で協議して決定する。
- (4) また、本業務の遂行にあたって業務の一部を再委託する場合は、再委託申請書により事前に申請すること。
- (5) 会津大学ガイドブック 2022 に掲載する写真や記事等の素材の一部は、委託契約後に提供する。